

海外安全対策情報

平成27年6月末現在

1. 治安・社会情勢

ミシガン州、オハイオ州ともにこれまで減少傾向にあった犯罪件数が増加傾向に転じています。気候が暖くなる夏場は、日中の時間帯が長くなり、また外出する機会も多くなることが犯罪に遭遇する機会の増加の原因のひとつと思われます。今後も増加傾向が続くと思われますので危険な場所を避けるなど十分に注意を払うようにして下さい。

ミシガン州では、特にデトロイト市内における犯罪の増加が顕著です。中でも強盗や加重暴行といった暴力を用いた凶悪な犯罪が大幅に増加しています。

オハイオ州では、コロンバス市及びシンシナティ市において強盗や窃盗などの金品を狙った犯罪が増加傾向にあります。

2. 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

当館管轄地域内（ミシガン州、オハイオ州）の主要都市及び在留邦人が多数居住している地域の犯罪種別ごとの発生状況（件数）は以下のとおりです（期間：2015年4月1日から同年6月30日。括弧内は前3ヶ月期比）。

州	都市名	殺人	性犯罪	強盗	加重暴行	侵入盗	窃盗	自動車盗等
ミシガン州	デトロイト	74 (+12)	97 (+14)	904 (+235)	2590 (+737)	1920 (+236)	3814 (+505)	1879 (+187)
	ノバイ	0 (±0)	0 (±0)	1 (+1)	44 (+19)	7 (+6)	26 (+12)	39 (+22)
	アナーバー	0 (±0)	9 (-2)	7 (+4)	109 (+28)	38 (+12)	199 (+91)	145 (+112)
オハイオ州	ダブリン	0 (±0)	0 (±0)	3 (-1)	21 (+11)	19 (-6)	89 (+15)	67 (+21)
	コロンバス	2 (-2)	6 (+5)	106 (+30)	38 (+16)	190 (+23)	455 (+60)	218 (-30)
	シンシナティ	3 (+3)	19 (+14)	51 (-4)	33 (+19)	73 (-6)	451 (+122)	1 (-5)

3. テロ・爆弾事件発生状況

具体的情報には接していませんが、米当局は7月4日の独立記念日を狙ったイスラム過激派等によるテロの警戒を強めており、国民に対して注意喚起を発しています。

4. 誘拐・脅迫事件発生状況

当該具体的情報には接していません。

5. 日本企業の安全に関わる諸問題